

# 寄る市

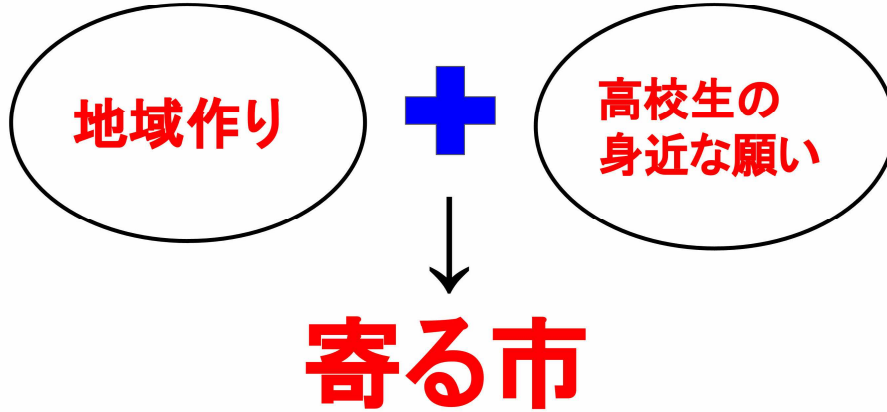
～大野の小さな憩いの場～

C組 2班 よるる



(発言内容)  
寄る市ってな〜に。

テーマ: 世代間交流・食品ロス



(発言内容)

私たちは、世代間交流と食品ロスをテーマに、地域づくりと高校生の身近な願いを融合させた「寄る市」を考えました。

## 高校生の身近な願い

高校生

・おなかのすいた部活帰りに**手軽に食べられる** 出店のようなものが欲しい！

・毎日仕事の後に夕飯を作ってくれるお父さん、お母さんの**負担を少しでも軽く**したい。

親

(発言内容)

ここでいう、高校生の身近な願いとは、「お腹のすいた部活帰りに手軽に食べられる出店のようなものが欲しい」と思ったことと、「毎日仕事の後に夕飯を作ってくれるお父さん、お母さんの負担を少しでも軽くしたい」ことです。



(発言内容)

それでは、私たちが考える寄る市の流れを三つに分けて説明します。  
一つ目は、大野市の高齢者の方々に料理を作ってもらいます。料理を作  
っていただくお年寄りの方々は「大野市シルバー人材センター」さんにお願  
いをしたいと考えています。大野市シルバー人材センターとは、定年退職  
された高齢の方々が働くことを通して、生きがいを得るとともに、地域活  
性化に貢献されている組織のことです。料理は福井県で行われている「お  
いしいふくい食べきり運動」の食べきりレシピを参考に作っていただきま  
す。

## 食べきりレシピってなーに??




食べきりレシピのホームページ

[https://info.pref.fukui.lg.jp/junkan/tabekiri/060\\_recipi/](https://info.pref.fukui.lg.jp/junkan/tabekiri/060_recipi/)

(発言内容)

食べきりレシピとは、ほかのアレンジレシピとは違い、普段なら捨ててしまうような皮やヘタなどを使用しているレシピのことです。この写真は実際にホームページに掲載されている写真です。まさか、普段使われていない部分まで含まれているとは思えないほど美味しそうな食材ですね。



**②料理を販売する**  
～ターゲット～

- ・ゆいとぴあで勉強している**学生**
- ・部活帰りの**学生**
- ・仕事帰りの**主婦**
- ・2024年度完成予定の  
**まちなか屋内型遊び場の利用者**

(発言内容)

二つ目は、料理面についてです。寄る市の主なターゲットは、結とぴあで勉強している学生、部活帰りの学生、仕事帰りの社会人、2024年度完成予定のまちなか屋内型遊び場の利用者です。販売は大野市シルバー人材センターさんをお願いしたいと考えています。



### ③交流が生まれる

- ・InstagramなどのSNSで宣伝する
- ・テントなどの簡易的な所での提供
- ・夏場は 冷たい飲み物  
冬場は 温かい飲み物 の提供

#### ～世代間交流が必要なわけ～

- ・災害時のコミュニケーションを助ける
- ・地域の結びつきが強くなる

(発言内容)

三つ目は、料理提供を通した世代間交流についてです。より交流を活発にするための案が三つあります。

一つ目、SNSで宣伝すること、

二つ目、会話が生まれやすいテントなどの簡易的な場所で販売すること、

三つ目、より長い時間滞在してもらうために、無料で飲み物を提供すること。

以上の三つがより世代間交流を行うために効果的であると考えました。

そもそも、なぜ世代間交流が必要かと言うと、普段から地域内で会話を力交わすことで災害時のコミュニケーションが取りやすくなるというような、さまざまな理由があります。料理を作る、提供する、世代間交流を生む。この三つが寄る市の大きな流れです。

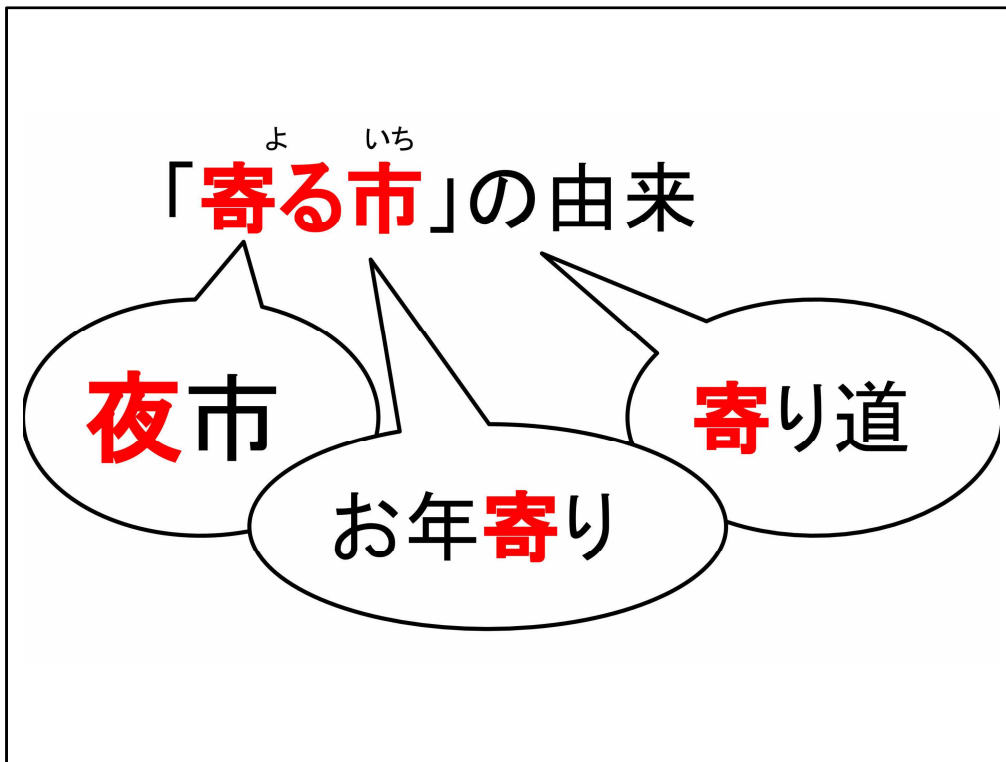


## ～寄る市のコンセプト～

車や自転車で**ふらっと簡単に**  
おじいちゃんおばあちゃんと  
**交流**しよう!!

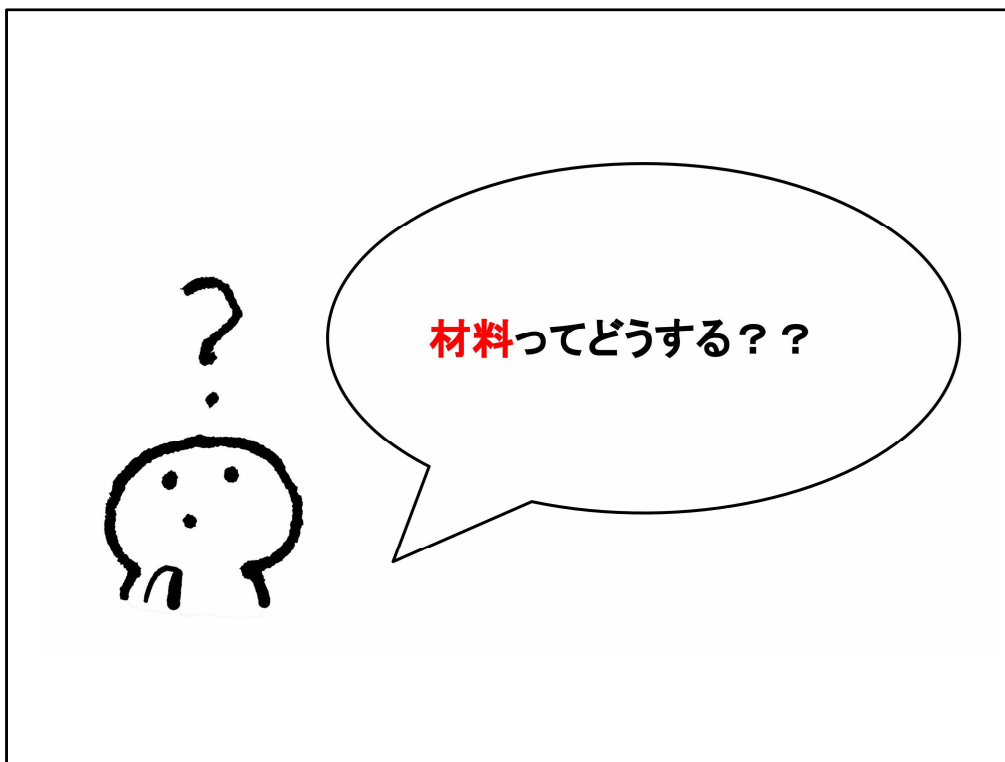
(発言内容)

そんな寄る市のコンセプトは、「車や自転車でふらっと簡単におじいちゃんおばあちゃんと交流しよう」です。



(発言内容)

また、寄る市の名前の由来は、夜市の「よる」、お年寄りの「より」、寄り道の「より」の三つの意味が込められています。



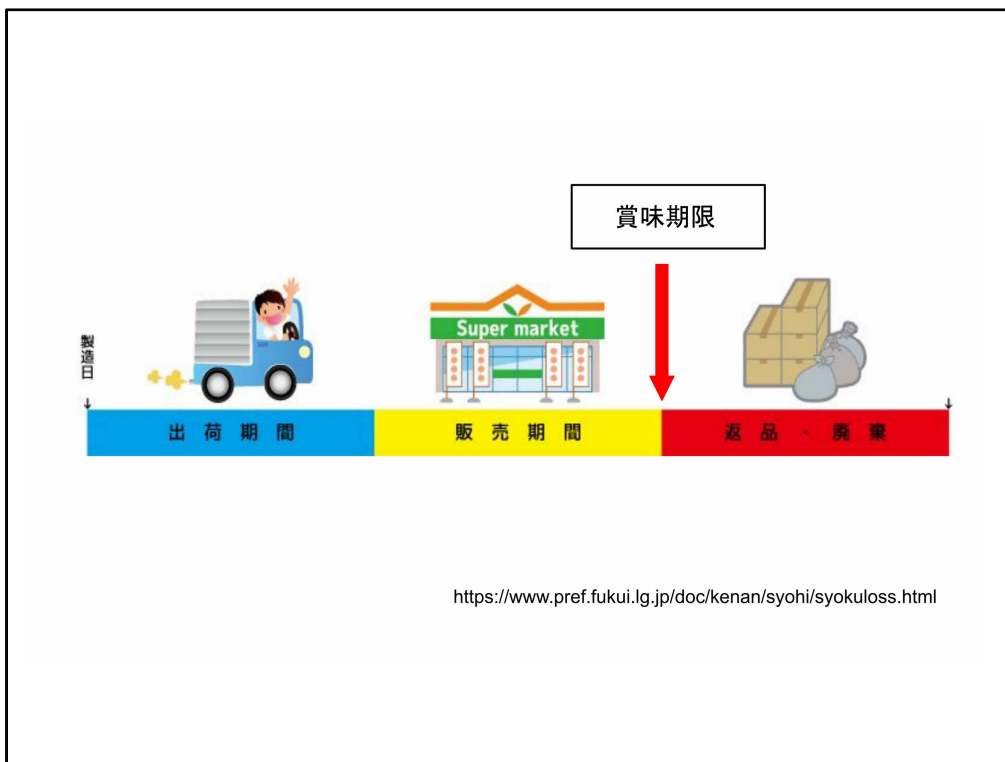
(発言内容)  
寄る市の流れを話し合った際、出てきた課題があります。料理提供に使う食材についてです。

## 解決策

スーパーから捨てられる  
予定の食材を活用する

(発言内容)

解決策として、「スーパーから捨てられる予定の食材を活用する」という案が出てきました。この案について詳しく調べるために、大野市内のスーパーにインタビューを行いました。すると、どのタイミングで買い取れば良いかが見えてきました。



(発言内容)

このグラフを見てください。これは商品が製造されてから廃棄されるまでを表したものです。私たちは、賞味期限が近く、値引きされるタイミングで相場より安く商品を買取りたいと考えています。



(発言内容)

また、今後の願望として、形が不揃いであったり、傷があったりして、食べられるけど出荷できない「不揃い野菜」を大野市の農家さんから買い取り、料理に使いたいと考えています。

寄る市をより良くするために、、、



**フードドライブを  
組み合わせよう!!**

(発言内容)

もっと寄る市をより良くするために、話し合った結果、「フードドライブと組み合わせる」という案が出てきました。

## フードドライブってなーに？？？

家庭で余った食品などを集めて団体や施設などに  
寄付すること

 **食品ロスやCO2排出削減につながる**

<https://www.city.ono.fukui.jp/kurashi/kankyo-sumai/gomi-recycle/fooddrive.html>



(発言内容)

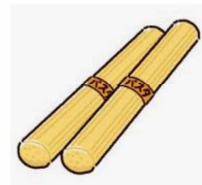
フードドライブとは、家庭で余った職員などを集めて団体や施設などに寄附する活動のことです。これによって食品ロスやCO<sub>2</sub>排出削減につながります。



## 回収できる食品

常温保存可能なもの…

お米  
乾麺・パスタ  
レトルト食品・缶詰・インスタント食品  
海苔・ふりかけ・粉ミルク  
調味料など



(発言内容)

フードドライブで回収できる食品の例として、お米、レトルト食品などが挙げられます。

## 回収できない食品

- ・温度管理が必要なもの(冷凍食品など)
- ・品質保証できないもの(手作り料理・生鮮食品など)
- ・開封済みのもの
- ・賞味期限が一ヶ月未満のもの
- ・アルコール類(調味料以外)



(発言内容)  
逆に回収できない食品の例として、冷凍食品、手作り料理などが挙げられます。

環境省のフードドライブ実施の手引きによると、

実施の計画で決めること

- ・フードドライブ**実施場所**、**期間**、**提供先**を決めること
- ・食品の提供先と**商品の種類**、**提供条件**を調節すること



**決めるのが難しい**

(発言内容)

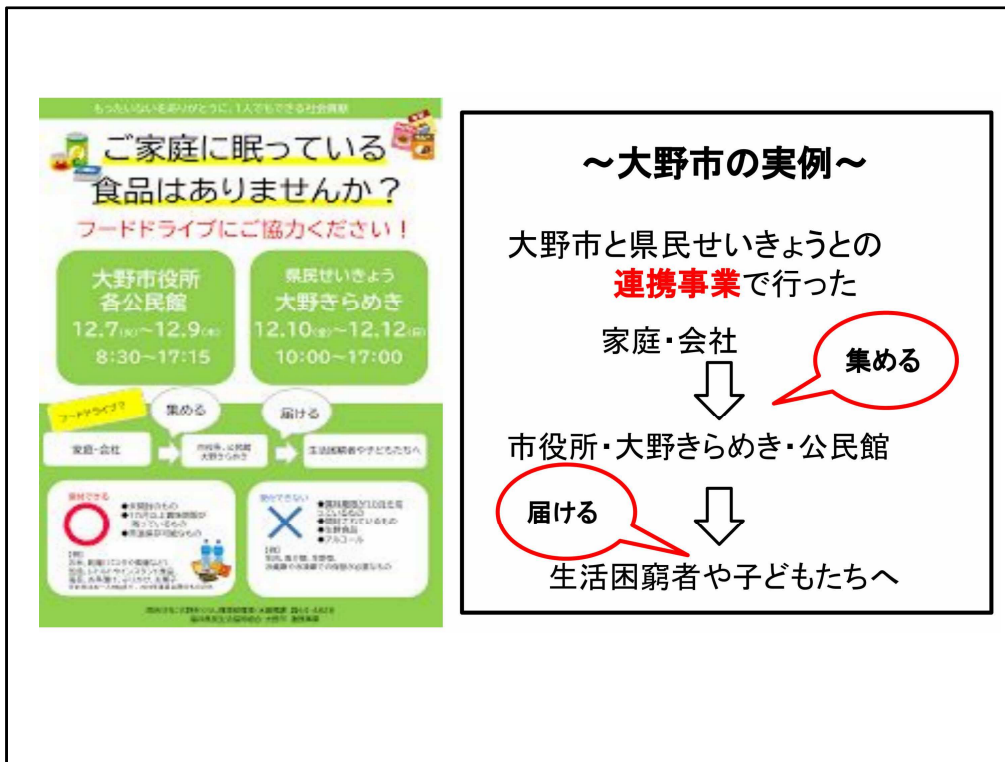
環境省のフードドライブ実施の手引きによると、決めるべきこととして、日時、場所など、さまざまなことがあります。これらがたくさんあるため、決めるのが難しいと考えました。

## 解決策

大野市で実際行われていた  
フードドライブとコラボして行う

(発言内容)

そこで解決策として、実際に行われているフードドライブとコラボして寄る市を開催することが挙げられました。



(発言内容)

実際に大野市では県民せいきょうとの連携事業として行われていました。この、フードドライブの流れとして、家庭や会社から食品を集めます。市役所、大野きらめき、公民館に集められた食品を生活困窮者や子どもたちに無料で配布します。

## 寄る市とコラボする**利点**

①寄る市が**広報の役割**を担えること

↳フードドライブの

存在を多くの大野市民に伝える

②食品ロスの存在を**身近に**感じてもらえる

↳**寄り道感覚**でフードドライブ

(発言内容)

寄る市とフードドライブをコラボする利点は二つあります。

一つ目は、寄る市が広報の役割を担えることで、フードドライブの存在を多くの市民に知ってもらえることです。

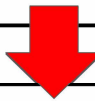
二つ目は、食品ロスの存在を身近に感じつつ、寄り道感覚でフードドライブに参加できることです。

## まとめ

大野市内のスーパーの売れ残りや不揃い野菜を集める



地域のお年寄りの方々に食べきりレシピのような料理を提供してもらう



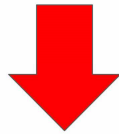
地域の高校生や主婦に嬉しい料理の販売とともに**交流**を得る

(発言内容)

それらの食品を使って、シルバー人材センターの方々を中心に、食べきりレシピを参考に料理を提供してもらいます。主婦や高校生に喜んでもらえる料理の販売を通して世代間交流につなげます。

## まとめ

大野市と寄る市が協力して**フードドライブ**を行う



**食品ロスに貢献！！！！**

(発言内容)

また、料理提供だけでなく、市と寄る市が協力してフードドライブを行い、食品ロス削減に貢献します。





(発言内容)

最後に私たちが考えた寄る市を通して、世代間交流と食品ロスを身近に感じられる大野市の憩いの場に寄る市がなったら嬉しいです。  
これで終わります。ありがとうございました。